**豊橋市　幼保小接続カリキュラム【スタンダード】①生活する力**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 11月　　　　　 12月　　　　　 １月　　　　　 ２月　　　　　 ３月 | ４月　　　　　　　　　５月 |
| ねらい | | 自分のことを自分でしようとする | 自分のことが自分ででき、新しい環境に慣れて安心して生活する |
| めざす子どもの姿（上段）と主な活動（下段） | 健康で安全な生活をする | ・遊びの中で体を動かす心地よさを味わう。　　　・寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・自分の体を大切にし、安全に行動する。  ・みんなと一緒に食べることを楽しむ。 | ・ルールを守り、仲よく運動する。  ・学校の施設や遊具の使い方を知り、安全に活動する。  　　　　　・信号・道路標識の意味が分かり、安全に通学する。  ・給食をみんなと一緒に楽しく食べる。  　　　　　　　　　　　　　　　・時間内に食べ終える。 |
| ○リレー　○かけっこ　○綱引き　○おにごっこ　　○ドッジボール　　○なわとび　　○てつぼう  ○芋ほり　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○もちつき | ○かけっこ（体育）○楽しく遊ぼう（体育・生活）  ○交通安全教室　　○学校探検（生活）  ○給食　　　　○異学年交流 |
| 生活に必要な活動を自分で行う | ・規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）が必要なことを知る。・生活習慣を身につけ、行動する。  ・遊んだものや遊んだ場所を片づける。　　　　　　　　　・みんなで使うものや施設を大切にする。 | ・衣服の着脱、自分の持ち物の整とんをする。  　　　・給食の手順、きまりを知り、協力して準備や片づけをする。  ・使ったものを元の場所に片づける。  　　　・掃除の方法を知り、協力して使った場所をきれいにする。 |
| ○遊びや給食の準備、片づけ | ○給食の準備と片づけ  　　　○（６年生と）そうじ |
| 周りを見て、見通しをもって行動する | ・時間を守る大切さを知る。　　　　　　　　　・時間的な見通しをもって生活をする。  ・自分の感情をコントロールする。　　　　　　・自分から取り組んだことをやり遂げようとする。 | ・登校や始業の時刻を守る。  　　　　　・時間割表を見て、１日の見通しを立てて生活する。  ・チャイムを聞いて、自分で判断して行動する。  　　　　　　　・宿題や当番活動などやるべきことを最後まで行う。 |
| ○なわとび　　 ○こま回し　　○たこ作り　　○編み物 | ○がっこうのやくそく（学活）  　　○日直の仕事  　　○そうじ当番○給食当番 |
| 環境づくり | | ○みんなで体を動かして楽しめるように、運動遊びに必要な道具を準備したり場の確保をしたりする。  ○子どもどうしの協力し合う姿、がんばりを大切にし、お互いに認め合える雰囲気づくりに心がける。  ○生活に必要なことをできたときには褒めるようにし、一人一人の自信につなげていく。 | ○学校生活を知って楽しみにし、学校を好きになる時間を設定する。 |
| 幼保小連携 | | ○小学校教師と小学校生活の流れについての情報共有を行い、子ども自身が小学校生活をイメージできるようにする。  ○小学校入学までの園での生活の流れを小学校の教師に伝えていく。 | ○幼保こども園から引き継いだ情報を生かして、それぞれの子どもの性格や家庭環境をつかんでおく。 |
| 家庭との連携 | | 家庭に呼びかけていくこと  ・規則正しい生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）を身につける。  ・子どもとともにすすんで戸外に出て遊ぶ機会を増やす。  ・衣服の着脱、身の回りの物の整とんなど自分で行えるようにする。  ・物を大切にして、使ったものを元の場所に片づけるよう習慣づける。 | 入学説明会、入学式にお願いすること  ・通学路を把握し、交通ルールを知らせ、安全に気を付けることを意識させる。  ・一緒に時間割を確かめ、用具の準備をする。  ・家族と一緒に食事をし、保護者がマナーや食べ方の手本を示す。 |

**豊橋市　幼保小接続カリキュラム【スタンダード】②かかわる力**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 11月　　　　　　12月　　　　　　１月　　　　　　　２月　　　　　　３月 | ４月　　　　　　　　５月 |
| ねらい | | よいことと悪いことがわかり、身近な人にかかわろうとする | 身近な人に、親しみをもってすすんでかかわろうとする |
| めざす子どもの姿（上段）と主な活動（下段） | 言葉で気持ちを伝え合う | ・あいさつや返事の大切さを知る。  ・自分の考えを言葉で伝える。  ・友達の話を最後までしっかりと聞く。  　　　　　　　　　・自分の思いを相手にわかるように伝え、相手の思いを聞いてわかろうとする。  ・グループや友達どうしで話し合いながら活動する。 | ・先生や友達にすすんであいさつをする。  ・先生や友達に自分の思いを伝える。  ・先生や友達と話したり質問したりして伝え合う。  　　　　　　　　　　・ていねいな言葉づかいを意識して話す。  ・先生や友達に親しみをもってかかわる。 |
| ○伝言遊び | ○自己紹介　○気持ちのよいあいさつ（道徳）  　　　　　　○学校探検（生活） |
| きまりの大切さを知り、進んで守る | ・ルールや約束の大切さを知る。  ・「ありがとう」「ごめんなさい」が言える。　　・よいことと悪いことがあることに気づき、考えて行動する。 | ・小学校でのきまりを知り、守ろうとする。  　　　　　・よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを行う。 |
| ○ごっこ遊び　　○グループ遊び | ○係活動　　○当番活動　　　　○異学年交流 |
| 互いのよさを認め、友達と協力する | ・友達と一緒に行動し、気持ちを共感する。　　　・友達と折り合いをつけ、自分の気持ちを調整する。  　　　　　　　　　　　　・友達と共通の目的に向かって力を出し合い、やり遂げた達成感を味わう。 | ・友達に思いやりをもって接し、仲よくする。  　　　　　・友達と分担したり力を合わせたりして活動する。 |
| ○空き缶つみ　　　　　　　○手押し車  ○異年齢児との遊びや交流活動  ○生活発表会 | ○割ばしキャッチ　　　○つえキャッチ  ○新聞紙ちぎりゲーム　○キャップつみ　　○ジェスチャーゲーム  　　　　　　　　　　　○豆つまみリレー　○心合わせてゲーム |
| 環境づくり | | ○経験したことを話したり聞いたりする機会をもつ。　　　　○自分や友達の成長を認め合える機会をもつ。  ○人に役立つことをした喜びに共感し、自信につなげていく。  ○異年齢とかかわりをもてるような場を設定する。　　○いろいろな当番活動が選べるような工夫をする。 | ○朝の会、帰りの会で司会をしたり、お話しタイムですすんで話したり、友達の話を聞いたりする環境をつくる。 |
| 幼保小連携 | | ○小学校で開催される行事に参加し、小学生との交流の機会を多くもつ。  ○小学校教師が園へ行き、子どもたちとかかわる機会をもつ。 | ○幼保こども園と情報交換したことを生かし、教師が新入学児童一人一人とのかかわり方を工夫する。 |
| 家庭との連携 | | 家庭に呼びかけていくこと  ・園での出来事や、自分の思いや考えが話せるようなひとときをもつ。  ・家族と目を合わせてあいさつや返事ができるようにする。  ・子どもと話し合って決めた家庭のきまりや約束を守らせるようにする。  ・してよいことと悪いことの基本的な区別を教える。 | 入学説明会、入学式にお願いすること  ・子どもと一緒に保護者自身が積極的にあいさつをする。  ・学校での生活の様子、学校の先生や友達のことなどを尋ね、会話を通して１日の子どもの姿を把握する。  ・手伝いをすることで、家族の一員としての自覚をもてるようにする。 |

**豊橋市　幼保小接続カリキュラム【スタンダード】③学ぶ力**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | | 11月　　　　　 12月　　　　　 １月　　　　　 ２月　　　　　 ３月 | ４月　　　　　　　　　　５月 |
| ねらい | | おもしろいと思うことに自分から取り組もうとする | 様々なことに自分から興味をもって取り組もうとする |
| めざす子どもの姿（上段）と主な活動（下段） | 自分の興味・関心をもったことにすすんで取り組む | ・考えたことを試したり工夫したりする。  　　　　　・自然にふれ、自然物からイメージを膨らませたことを遊びに取り入れる。  ・生き物への愛着を感じ、生命を大切にする | ・学校の施設で興味・関心をもった場所を見つける。    ・植物の栽培に興味をもち、すすんで世話をする。  　　　　　・学校の動植物に関心をもってかかわる。 |
| ○秋・冬の自然物を使った遊び　　　　 ○氷遊び  ○チューリップ栽培 | ○学校探検（生活）  　　　　　　○あさがおの栽培（生活）　○うさぎと遊ぼう（生活） |
| 気づきや発見を伝え合い、工夫して表現する | ・気づいたり発見したりしたことを伝え合う。　・わからないこと知りたいことを先生に聞いて理解する。  　　　　　　　・自分の考えやイメージをかいたり、つくったり、歌ったりして表現する。 | ・経験したことや気づいたことを話す。・相手や場面に応じて話す。  ・自分の気持ちや感じたことを絵や粘土で表現する。  　　　・紙の切り方を工夫して楽しい飾りをつくる。  　　　・友達と声を合わせて歌ったり音楽に合わせて踊ったりする。 |
| ○劇遊び　　　　　　○楽器遊び　　　　　　○ごっこ遊び | ○うたでなかよし（音楽）　○たのしかったよ（図工） |
| 文字や数量などの感覚を豊かにする | ・文字がコミュニケーションの手段であることに気づき、使おうとする。  　　　　　　　　・絵本や物語に親しみ、想像する楽しさを味わう。  　　　　　　　　・遊びの中で数や量を比べたり様々な形に興味をもったりする。 | ・ひらがなに親しみ正しく書く。・鉛筆を正しく持ち、ていねいに書く。  ・想像を膨らませながら、読み聞かせを楽しく聞く。  　　　　　　　　　　　　・声の大きさやリズムを意識して音読する。  ・具体物や絵を見て数量への関心をもつ。  　・５までの数を正しく読み書きし、大小を比べ、合成や分解をする。  　　　　　・１０までの数を読み書きし、大小を比べたりする。  　　　　　　　　・順番や物の位置を数字を使って表す。  　　　　　　　　　　　　　　　・１０までの数の合成や分解をする。 |
| ○お店屋さんごっこ　　　　○郵便屋さんごっこ  　　　　　　　　○しりとり　　　　　　　　　　○かるた　　　　　○なぞなぞ  　　　　　　　　　　　　　○トランプ　　○すごろく | 国語：○ひらがなを覚えよう  算数：○かずとすうじ　○なんばんめ　○いくつといくつ |
| 環境づくり | | ○季節の変化を生活の中に多く取り入れる。  ○身近な環境の様々なものとの出合いの中で、心を揺さぶり、子どものイメージを大切にしていく。  ○遊びの中で数えたり、並べたり、比べたり、また、文字の必要性に気づく場面をつくる。  ○子どもたちの興味や活動意欲の高まりを十分に受け止めながら力が発揮できるようにする。 | ○モジュール学習（４５分を１５分×３セットとするなど）を取り入れ、徐々に４５分の授業に慣れていくようにする。  ○体験的な活動や操作を取り入れることで、これまでの経験を生かす。  ○認め、励まし、子どもたちが満足感・充実感をもって学習できるようにする。 |
| 幼保小連携 | | ○小学校の授業を参観し、学習の内容や方法を知る。  ○小学校教師から、学習内容について情報交換する。 | ○幼保こども園と情報交換したことをもとに、指導方法の改善を行う。 |
| 家庭との連携 | | 家庭に呼びかけていくこと  ・身近な自然にふれ、美しさや不思議さなどを子どもと共感する。  ・子どもが興味をもって試したり工夫したりする姿を見守る。  ・子どもの発する疑問に答えたり、一緒に考えたりする。  ・生活の中で文字や数などにふれ、関心がもてるようする。 | 入学説明会、入学式にお願いすること  ・学校でどのような学習をしたのかを尋ね、内容を把握する。  ・場所を決めて学習し、一緒に宿題をするようにする。  ・わからないことを一緒に調べ、分かったうれしさを共有する。  ・本の読み聞かせを継続する。 |